

市民・県民に誇れるコミュニティ・スクール 上尾中

埼玉県上尾市		●活動名 上尾市立上尾中学校学校運営協議会			●関係する学校名 上尾市立上尾中学校	
協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		—	地域人材育成		
統合的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 —		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人		
ボランティアの数	延べ登録人数 194人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	有	
参考URL	https://www.city.ageo.lg.jp/site/ageo-juniorhighschool/					
●連絡先	上尾市教育委員会 学校教育部指導課			☎ 048(775)9672		



- 活動の概要・経緯
1. 上尾中は平成30年にコミュニティ・スクールが導入された。従来の学校応援団やPTA活動に加えて、学校運営協議会の委員が中心となって各団体と連携を取りながら新たなイベントに取り組んだ。
 2. 学校支援という視点だけでなく、地域と共にイベント等をつくりあげていくという視点で活動することで学校・地域双方に活力が生み出されている。
 3. 「市民・県民に誇れるコミュニティ・スクール上尾中」としてより活気ある活動を継続していこうと取り組んでいる。
 4. コミュニティ・スクールマークは、令和元年度に地域に募集をかけて投票で決まったシンボルマークである。
 5. 令和2年度から地域住民・商店と一緒に地域清掃活動や、地域書店での図書紹介活動等に取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

- 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】
1. みんなで語ろう(上尾中学校区 地区懇談会)
学校運営協議会の委員がコーディネーターとなり、共通テーマ「学校が地域にできること」「地域が学校にできること」を中心に、保護者、PTA役員、学校応援団、本校職員、区長で懇談会を実施した。当日は15名程度のグループに分かれ、学校運営協議会の委員が進行役となり、テーマに沿ってそれぞれの立場で意見交換を行い有意義な協議となった。
地域の課題と学校の課題を共有することができ、今まで以上に地域と学校が協働していく雰囲気醸成され、「学校を核とした地域づくり」に近付けることができた。
- 【実施に当たっての工夫】
1. 平素からの地域とのコミュニケーションが大切。「学校だより」を配布する際、管理職で直接区長等の所まで持って行き、挨拶をかねて、イベント等の協力を要請する。
 2. 「みんなで語ろう」では主のテーマを決め、その他地域の方々が関心の持てるようなテーマを設定し、時間内で活発な懇談が行えるように工夫する。
- 【関係機関・団体等との連携状況】
1. 学校運営協議会がコーディネーターとなり、各イベントに取り組む。校長の案を運営協議会で練り上げ、具体的なものにしていく。
 2. 学校運営協議会の委員がコーディネーターとなり、PTA本部、おやじの会、区長等が主体となって各イベントを行う。
 3. 参加者等の募集などの広報活動は、校区内各小学校や事務区長等の協力を得て行う。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

市民・県民に誇れるコミュニティ・スクールとして成長し続けている学校と自負できる。取組についても、学校運営協議会で熟議し様々なことに取り組むことで、地域学校協働活動が活性化し、地域への理解が深まり、ともに活動する機会が増えた。例えば、従来から学校・保護者で行っていたあいさつ運動、リサイクル運動、クリーン活動等についても地域の方々の協力が今まで以上に強くなった。

● その他

本校で取り組んだ「みんなで合唱!」「みんなで語ろう」の様子。



令和元年十一月十六日、みんなの歌声が



令和元年七月三十日、地域の方々が参加し